

第114回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和8年度第9回薬事審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）

2026（令和8年）年10月23日

参考
資料
22

予防接種後健康状況調査について

ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

Ministry of Health, Labour and Welfare

- 予防接種後健康状況調査は、予防接種法第47条第4項(※)に定める「予防接種による健康被害の発生状況に関する調査、その他予防接種の有効性及び安全性の向上を図るために必要な調査」として実施しているもの。
- 一定の頻度で発生がみられる副反応については、予防接種後健康状況調査においてモニタリングされており、国民が正しい理解の下に予防接種を受けることができるよう広く国民に情報提供されるとともに、予防接種の副反応の発生要因等に関する調査・研究の一助として活用されている。

(※) 予防接種法 第47条第4項:「国は、第二十三条第一項に定めるもののほか、予防接種による免疫の獲得の状況に関する調査、予防接種による健康被害の発生状況に関する調査その他予防接種の有効性及び安全性の向上を図るために必要な調査及び研究を行うものとする。」

<実施主体>

厚生労働省が、都道府県、市町村、日本医師会、各地域の医師会及び予防接種実施医療機関等の協力を得て実施しているもの。

<調査対象>

予防接種法の対象ワクチンを接種した者

<調査項目>

接種回数、接種部位、接種日、他の同時接種ワクチン、接種後の症状及び発症日等

<調査方法>

実施機関

- ✓ 保護者に対して本事業の趣旨を十分に説明の上、健康状況調査に協力する旨の同意を得た後、調査票を保護者又は対象者に配布する。
- ✓ 保護者から実施医療機関宛てに郵送された調査票を基に必要事項を転記し、各都道府県担当部局あてに提出する。

各都道府県

- ✓ 実施機関に対して、予防接種後健康状況調査実施要領、健康状況調査一覧表及び調査票を配布する。
- ✓ 管内各実施機関から提出された健康状況調査一覧表を厚生労働省に提出する。

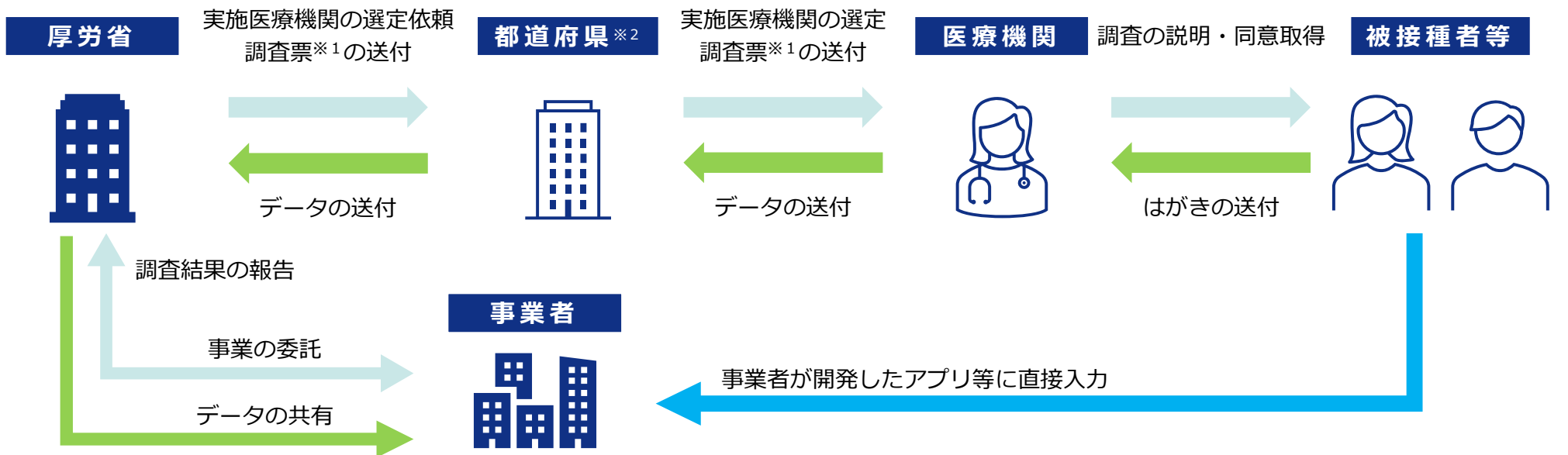
【調査項目(例)】

1. 発熱がありましたか。
それはいつからですか:()
最も高かった体温は何度でしたか:()℃
2. 注射した部位には異常がありましたか。
それはいつからですか:()
赤くはれましたか
赤くはれた大きさは()cm
化膿しましたか
硬くなりましたか
3. ひきつけがおこりましたか。
それはいつからですか:()
どの位の時間でしたか:()分
そのとき熱はありましたか:()℃
4. 嘔吐はありましたか。
それはいつからですか:()
5. 下痢はありましたか。
それはいつからですか:()
6. せき・鼻みずなどの症状はありましたか。
それはいつからですか:()
7. その他身体の具合が悪くなったことがありましたら記入して下さい。
症状があった期間:()
症状:()
8. 上記の症状で医師に受診しましたか。
そのとき入院しましたか。

予防接種後健康状況調査の実施スキームの推移

- 令和3年度以前は接種時に渡されたはがきに被接種者や保護者が健康状況を記載し、医療機関、自治体及び厚労省を通じて、事業者に提出していた。
- 令和4年度以降は接種時に渡されたリーフレットに記載されているQRコード等を読み込み、被接種者や保護者がアプリ等に健康状況を直接入力し、事業者に提出している。

予防接種後健康状況調査



※1 令和3年度以前は「はがき」、令和4年度以降は「リーフレット」を調査票として用いている。

※2 ここでいう都道府県は指定都市を含む。

凡例
 ← 共通
 ← 令和3年度以前の結果報告の流れ
 ← 令和4年度以降の結果報告の流れ

予防接種後健康状況調査のこれまでの経緯及び本部会におけるご意見について

- 予防接種後健康状況調査（以下、「本調査」）は平成6年の予防接種法改正にともなって開始された事業の一つであるが、調査対象となるワクチンの増加、接種状況の変化、及び調査手段の変化等に伴い、本調査に係る検討課題が複数生じており、これらの課題に対して、令和7年1月及び4月の本部会においてご議論いただいた。

これまでの経緯

- 本調査は国民が正しい理解の下に予防接種を受けることができるよう予防接種に関する正しい知識の啓発普及の一環として、予防接種後の健康状況に関する情報を広く国民に提供するとともに、予防接種後の副反応の発生要因等に関する調査・研究の一助となることを目的として、平成6年の予防接種法改正にともなって開始されて以降毎年度実施しており、本調査結果については毎年厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会薬事審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会にご報告している。
- 本調査開始以降、水痘ワクチン、B型肝炎ワクチンや5種混合ワクチン等が新規に予防接種法上の定期接種に位置付けられ、同時接種の増加が認められる等、接種状況も変化している。
- 令和3年度までは、はがきを用いて実施していたが、令和4年度から調査方法をデジタル化したところ、報告者数が減少している。
- 上記の検討課題に対して、これまで本部会において令和7年1月及び4月の2回ご議論いただいた。

令和7年1月及び4月の本部会委員のご意見

【第105回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会（合同部会）（令和7年1月24日）における主なご意見】

- この結果は、予防接種リサーチセンターが発行している「予防接種ガイドライン」や、全てのお子さんに配られる「予防接種と子どもの健康」に、このワクチンだったらこれぐらいの割合でこういう症状が出るという記載に使われてきたとても大事な調査。
- この調査が開始されて以降、同時接種が結構多くなり、今は接種のパターンも決まってきている。

【第106回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会（合同部会）（令和7年4月14日）における主なご意見】

- 比較的頻度が多いような副反応の発生状況をモニタリングする意味で非常に意味のある調査である。ただし、副反応の頻度を評価する際に、参加者の数は非常に重要となっているため、調査の参加者が増えるように努力することとしてはどうか。4

予防接種後健康状況調査における取組について

- 令和7年1月及び4月の本部会におけるご意見等を踏まえ、回答率の改善等に資する以下の取組を行った。

予防接種後健康状況調査における取組

- 令和7年度には①～③及び④、令和8年度には④及び⑤の取組を行った。
 - ① 自治体に対する追加の取組
 - ・ 令和7年度第1回予防接種自治体向け説明会（令和7年9月9日）において、本調査の概要、調査スキームの変更、「予防接種ガイドライン」や「予防接種と子どもの健康」等の本調査結果の活用状況、本調査の回答方法等について説明した。
 - ② 医療機関に対する追加の取組
 - ・ 令和7年度第1回予防接種自治体向け説明会（令和7年9月9日）において、自治体のみならず本調査の実施機関に対しても、本調査の概要、調査スキームの変更、「予防接種ガイドライン」や「予防接種と子どもの健康」等の本調査結果の活用状況、本調査の回答方法、本調査における医療機関の役割等について説明した。
 - ・ 医療機関向けのリーフレットを新規に作成、全実施機関に配布し、本調査を実施するにあたっての適切な情報提供を行った。
 - ③ 被接種者またはその保護者に対する追加の取組
 - ・ 本調査に回答する方法を、令和6年度までの1つから、アプリからの回答、Webでの回答、SNSを用いた回答の3つに増やした。
 - ・ アプリにおける通知等を用いて、リマインドの強化を行った。
 - ④ 調査方法の工夫
 - ・ 令和7年度は調査対象のワクチン毎にあった調査票を、小児向け・高齢者向けの2枚に統一した。
 - ・ 令和8年度は、さらに調査項目を統一し、小児（BCG以外）、小児（BCG）、成人（高齢者）、成人（妊婦）の4対象者向けリーフレットを作成し接種医療機関を通して、被接種者にリーフレットを配布し調査への協力依頼した。
 - ⑤ 調査結果報告書の整理
 - ・ 令和8年度調査の集計表については、調査項目の統一等を踏まえ、第14群～第19群の累計表を削除し、現在の第1群～第13群、第20群のみとする予定。

令和 7 年度の回答状況について

○ 定期接種に用いる主なワクチンについて、令和 7 年度の予防接種後健康状況調査の回答状況については、以下のとおり。回収率について令和 6 年度と比べるとDPT-IPV-Hib、MR、日本脳炎等は上昇しているが、DT、小児用肺炎球菌、水痘等は減少している。

ワクチン		令和 6 年度	令和 7 年度
DPT-IPV-Hib	対象者数	7,560	8,260
	有効回答数	1,170	3,010
	回収率	15.5%	36.4%
DT	対象者数	7,840	8,120
	有効回答数	592	578
	回収率	7.6%	7.1%
MR	対象者数	7,980	8,260
	有効回答数	770	948
	回収率	9.6%	11.5%
日本脳炎	対象者数	7,980	8,260
	有効回答数	1,225	1,675
	回収率	15.4%	20.3%
BCG	対象者数	7,420	7,560
	有効回答数	759	938
	回収率	10.2%	12.4%
小児用肺炎球菌	対象者数	7,840	8,120
	有効回答数	1,220	748
	回収率	15.6%	9.2%
水痘	対象者数	7,700	7,980
	有効回答数	882	798
	回収率	11.5%	10.0%

ワクチン		令和 6 年度	令和 7 年度
B型肝炎	対象者数	7,840	8,120
	有効回答数	941	842
	回収率	12.0%	10.4%
ロタ	対象者数	7,700	7,980
	有効回答数	1,058	665
	回収率	13.7%	8.3%
HPV	対象者数	7,560	7,980
	有効回答数	1,161	757
	回収率	15.4%	9.5%
インフルエンザ	対象者数	3,480	3,600
	有効回答数	406	637
	回収率	11.7%	17.7%
高齢者用肺炎球菌	対象者数	3,360	3,420
	有効回答数	39	49
	回収率	1.2%	1.4%
新型コロナウイルス	対象者数	3,060	3,300
	有効回答数	230	190
	回収率	7.5%	5.8%
帯状疱疹	対象者数	—	3,300
	有効回答数	—	422
	回収率	—	12.8%

令和 8 年度以降の予防接種後健康状況調査における取組について

- 令和 7 年 1 月及び 4 月の本部会におけるご意見等を踏まえた以下の取組について、令和 8 年度以降の予防接種後健康状況調査において行うこととしており、更なる回収率の改善を図るとともに得られたデータについて引き続き、国民に情報提供していく。

令和 8 年度以降の予防接種後健康状況調査における取組

- 調査方法の工夫
 - ・ 令和 8 年度は、さらに調査項目を統一し、小児（BCG以外）、小児（BCG）、成人（高齢者）、成人（妊婦）の 4 種類の対象者向けリーフレットを作成し接種医療機関を通して、被接種者にリーフレットを配布し調査への協力依頼を行った。
- 調査結果報告書の整理
 - ・ よりわかりやすい報告書となるよう、ワクチン毎に分かれていた調査項目を統一することで、報告書の簡素化を図り、令和 8 年度調査の集計表については、第 14 群～第 19 群の累計表を削除し、現在の第 1 群～第 13 群、第 20 群のみとする予定。